

日本共産党

西宮市会報告

2016年1月 NO.102

発行/ 日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号（西宮市役所内）
Eメール：nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

政治を「本気」で動かす年に！

日本共産党

委員会担当と議会役職



杉山たかのり

団長
市監査委員
総務常任委員
☎35-1682



佐藤みち子

幹事長
健康福祉常任委員
都市計画審議会委員
☎42-2856



上田さち子

阪神水道企業団監査委員
建設常任委員
☎35-2813



野口あけみ

教育こども常任委員会副委員長
広報広聴特別委員会副委員長
☎34-7329



まつお 正秀

幹事
民生常任委員会副委員長
☎73-0775



庄本 けんじ

建設常任委員
社会福祉審議会委員
☎42-0921

(市外局番は0798)



12月議会、UR借り上げ市営住宅問題で、市とURとの20年

の契約期間が終了したと「シテイハイツ西宮北口」の入居継続

UR借り上げ住宅訴訟議案に「待った」

全会一致で「継続審査」

昨年4月の西宮市議会議員選挙で、日本共産党西宮市会議員団は6名に増え、参議院、衆議院選挙に続く躍進となりました。

また、違憲の戦争法をめぐ

って、国民の「憲法守れ！」という運動が大きく発展し、沖縄米軍新基地建設や原発再稼働反対などの様々な分野のたたかいと合流して、「安倍政治を許

すな」 「野党は共闘を」という声がひろがりました。2016年は、安倍自公政権の暴走政治を国民の力で変革する画期的な1年になるでしょう。

日本共産党西宮市会議員団もみなさんとともに、全力でがんばります。

みなさんとともにがんばります

2016年

今村市長は議会の意思を尊重せよ

ところが今村市長は、同日午後ただちに記者会見し、「入居継続を認めるという方針変更は絶対ない」とコメント。

議会全体の「もっと話し合っ

を希望する7世帯に対し、市が「住宅明け渡しを求める訴え（裁判議案）」を提出しましたが、15日の本会議では「双方の歩み寄りによって話し合いによる解決を」と、全会一致で「継続審査」としました。

今回の継続審査は、単なる結論の先送りではなく、「もっと話し合いを」との議会の良識を示したものです。

審査の中で、市は入居者に対し入居決定時に「20年後には住宅の転居・退去が必要」との公営住宅法にもとづく「事前通知」をしてこなかったこと、また、「入居者は何も悪くない」と副市長が本会議答弁を行ったことも改めて明らかとなりました。



一般質問

生ゴミ減量の

さらなる具体化へ



後その普及に努めつつ、していくと、具体化の考
家庭での取り組みを支援
えを示しました。

JR福知山線廃線敷き
ハイキングコースへ

次に、まつお議員は、
JR福知山線廃線敷きハ
イキング道についてとり
あげました。現在この廃

線敷きの西宮側はJRが
所有し、立ち入り禁止の
看板が掲げられています
が、多くの方がハイキン
グに訪れています。
この間、JRから市に
対して、「一定の安全対策
を講じた上で無償譲渡」

していること、また、仮
にJRがハイキングコー
スとして安全対策を講じ
る場合には、限りなく原
型を残したままで行うよ
う協議中、との答弁を行
いました。こうした具体
的な答弁があったことは、
協議が進展している証で
す。

議論はこれから 第2庁舎問題

9月議会では、建設費96億円、上下
水道局などの大規模移転を含む第2
庁舎建設計画を初めて示しましたが、
12月議会には、「議会の賛同は得た」
とばかり、用地買収と基本計画策定
のための議案を提案しました。

日本共産党市議団は、一般質問でも
庄本議員が「議会、市民の意見を聞く
べきだ」と拙速な市のやり方を批判、
他の会派からも「違和感がある」など
本会議質問がされており、議論はこれ
からです。日本共産党市議団は、用地
買収は必要として認め、基本計画策定
については「市長は独断専行の姿勢を
改めるべき」と反対しました。

性については十分検証を
行い進めていくと説明。

「検証し、定員を減ら
すべきとの結果が出た場
合はどうするのか」と質
問しましたが、市長は
「210名にするための

子どものために
市立児童相談所を設置せよ！

まつお正秀議員は、ゴ
ミ問題で質問。現在、生
ごみ処理機やコンポスト
購入に対する市の補助制
度がありますが、生ゴミ
をさらに減らすために、
ダンボールで生ごみを堆
肥化する取り組みは集合
住宅などでも気軽にでき
ることを紹介し、本市で
も取り組むことを求めま
した。



佐藤みち子議員

佐藤みち子議員は、西
宮市での虐待件数が県内
でも多いのは、他市への
転出入が多く親が孤立し
ているためとする県ごと
も家庭センターの分析を
紹介し、早期発見、解決
のために市独自で児童相
談所を設置すべきと質問
しました。

市は「県子ども家庭セ
ンターと連携体制をとっ
ており、設置する考えは
ない」と答弁しました。

故障で長時間通行止め
跳ね橋の開閉やめよ

庄本けんじ議員

民の声がありました。そ
ういうなかで、昨年10月、
開閉故障が起き、17時間
も橋が通行止めとなり、
車椅子を利用する人も含
め多くの人が遠く離れた
西宮大橋まで迂回しなけ

ればならなくなりました。
市は、御前浜公園整備
にあわせて開閉を見直す
と表明していますが、こ
の際一刻も早く開閉をや
めるよう強く求めました。

アスベスト調査

100%できる体制を

次に庄本議員は、旧夙
川短大の校舎解体に伴う
の問題について質問。今

また、庄本議員は第二
庁舎整備計画についても
質問しました。

市長“出身会派”が
解散

市長が議員時代に所属していた
「蒼士会」が11月16日に解散。翌
日、同じメンバーで、「会派・ぜん
しん」が結成されました。これは、
“与党離脱”を示したものとされて
います。

また、「維新の党議員団」は国会
で大阪・東京に分裂したのに伴い、
「維新」と名称を変更。どちらの顔
も立てると言うことでしょうか。

一人ひとりの子どもを
大切にする保育所を

次に佐藤議員は、むつ
み・芦原保育所合築につ
いて質問しました。

市長は、「公立保育所で